

ZENworks Reporting Server インストールガイド

Novell. ZENworks. 10 Configuration Management SP3

10.3

2010年3月30日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル : 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインヘルプにアクセスする場合は、[Novell Documentation \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) の Web ページをご覧ください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 最小要件	9
1.1 ZENworks Reporting Server の要件	9
1.2 インストールユーザの要件	10
2 ZENworks Reporting Server のインストール	11
2.1 ZENworks インストールの理解	11
2.2 プレインストールタスク	11
2.2.1 最小要件を満たしていることを確認する	12
2.2.2 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止	12
2.2.3 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす	13
2.2.4 ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する	13
2.2.5 Oracle Client をインストールおよび設定する	13
2.3 ZENworks Reporting Server のインストール	14
2.3.1 インストール情報	16
2.4 ファイアウォールの使用	18
2.4.1 ZENworks Reporting Servers の設定	19
2.4.2 ファイアウォールルールの指定	19
3 ZENworks Reporting Server のアンインストール	21
3.1 GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	21
3.2 コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	22
3.3 サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	22
3.4 Windows の [プログラムの追加と削除] による ZENworks Reporting Server のアンインストール	22
A ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング	23
A.1 ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ	23
A.2 ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略	23
B マニュアルの更新	29
B.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)	29

このガイドについて

この『*Reporting Server* インストールガイド』には、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 レポートサーバーを正常にインストールするのに役立つ情報が記載されています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「最小要件」
- ◆ 11 ページの第 2 章「ZENworks Reporting Server のインストール」
- ◆ 21 ページの第 3 章「ZENworks Reporting Server のアンインストール」
- ◆ 23 ページの付録 A「ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング」
- ◆ 29 ページの付録 B「マニュアルの更新」

対象読者

このガイドは、ZENworks Reporting Server 管理者を対象にしています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks Reporting Server には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks 10 Configuration Management SP3 のドキュメントを参照してください \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/)。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (l) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

最小要件

1

ZENworks® 10 Configuration Management SP3 ZENworks Reporting Server インストールでは、ZENworks Reporting Server をインストールし、ZENworks インフラストラクチャレポートをカスタマイズします。

次のセクションでは、ZENworks Reporting Server のハードウェアおよびソフトウェアの最小要件について説明します。

- ◆ [9 ページのセクション 1.1 「ZENworks Reporting Server の要件」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.2 「インストールユーザの要件」](#)

1.1 ZENworks Reporting Server の要件

ZENworks Reporting Server をインストールする前に、ZENworks 10 Configuration Management SP3 がインストールされている必要があります。ZENworks Reporting Server をインストールするサーバは、次の最小要件を満たしている必要があります。

項目	要件	追加の詳細
オペレーティングシステム	Windows*: <ul style="list-style-type: none">◆ Windows Server 2003 SP1 / SP2 x86、x86-64 (Enterprise および Standard エディション)◆ Windows Server 2008 SP1 / SP2 x86、x86-64 (Enterprise および Standard エディション) Linux*: <ul style="list-style-type: none">◆ SUSE® Linux Enterprise Server 10 (SLES 10) SP1 / SP2 / SP3 x86、x86-64 (Intel* プロセッサおよび AMD* Opteron* プロセッサ)◆ Open Enterprise Server 2 (OES Linux) x86、x86-64◆ Open Enterprise Server 2 (OES 2) SP1/SP2 (Linux) x86、x86-64	Windows Server 2003 および Windows Server 2008 の Core Edition および Data Center Edition はすべて、プライマリサーバプラットフォームではサポートされていません。Windows Server 2008 Core は .NET Framework をサポートしていないため、サポートされていません。 重要 : ZENworks Reporting Server は、現在、SUSE Linux Enterprise Server 11 と Windows Server 2008 R2 ではサポートされていません。ただし、ZENworks プライマリサーバは、SLES 11 と Windows Server 2008 R2 でサポートされています。詳細については、 Novell Support Web サイト (http://www.novell.com/support/microsites/microsite.do) で TID 7004794 を参照してください。
ハードウェア	RAM : 最小 3GB ディスク容量 : 最小 5.6GB	
TCP ポート	3306 6400	ZENworks Reporting Server に組み込まれた MySQL* データベースが使用します。 ZENworks Reporting Server の中央管理サーバが使用します。

項目	要件	追加の詳細
	6410	ZENworks Reporting Server の Server Intelligent Agent が使用します。
	6420	ZENworks Reporting Server の監査ポート。

1.2 インストールユーザの要件

インストールプログラムを実行するユーザは、デバイスに対する管理者特権を持っている必要があります。例：

- ◆ **Windows:** Windows* 管理者としてログインします。
- ◆ **Linux:** root 以外のユーザとしてログインし、`sux` コマンドを使用して権限を root に昇格させてから、インストールプログラムを実行します。

ZENworks Reporting Server のインストール

2

ZENworks® 10 Configuration Management SP3 ZENworks Reporting Server をインストールするには、次のセクションのタスクを実行します。

- [11 ページのセクション 2.1 「ZENworks インストールの理解」](#)
- [11 ページのセクション 2.2 「プレインストールタスク」](#)
- [14 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)
- [18 ページのセクション 2.4 「ファイアウォールの使用」](#)

警告: 製品のテストと確認の場合、運用環境に ZENworks Reporting Server を展開しないでください。

2.1 ZENworks インストールの理解

ZENworks Reporting Server は、これまでは ZENworks 10 Configuration Management のインストールに含まれていましたが、本リリースから、別個のインストールメディアからインストールするようになりました。旧バージョンの ZENworks 10 Configuration Management からアップグレードすることはできません。ZENworks Reporting Server は、ZENworks 10 Configuration Management がサポートする言語でインストールできます。インストール時間は、選択した言語数によって異なります。

詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management アップグレードガイド](#)』を参照してください。

ZENworks Reporting Server は、次のいずれかのインストール方法でインストールできます。

- **GUI(グラフィカルユーザインタフェース):** Windows サーバと Linux サーバの両方で機能するグラフィカルユーザインタフェース (GUI) インストールプログラムは、インストール CD に提供されています。
- **コマンドライン:** コマンドラインインストールは Linux サーバでのみ利用可能です。
- **サイレントモード:** サイレントモードインストールでは、ユーザによる操作は必要ありません。サイレントモードインストールを実行するには、サイレントモード環境設定ファイルを編集し、スイッチを指定してインストーラを実行する必要があります。

レポートサーバのインストール方法の詳細については、[14 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)を参照してください。

2.2 プレインストールタスク

以下の適用可能なタスクを実行し、[14 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)に進みます。

- [12 ページのセクション 2.2.1 「最小要件を満たしていることを確認する」](#)

- ◆ 12 ページのセクション 2.2.2 「ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止」
- ◆ 13 ページのセクション 2.2.3 「Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす」
- ◆ 13 ページのセクション 2.2.4 「ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する」
- ◆ 13 ページのセクション 2.2.5 「Oracle Client をインストールおよび設定する」

2.2.1 最小要件を満たしていることを確認する

- ◆ サーバソフトウェアをインストールするデバイスが必要な要件を満たしていることを確認します。詳細については、9 ページの第 1 章「最小要件」を参照してください。
- ◆ ポート 6400、3306、6410、および 6420 が空いていることを確認します。これらのポートがビジーの場合、ZENworks Reporting Server をインストールする代替ポートを指定するようプロンプトが表示されます。

これらのポートがファイアウォールでブロックされている場合は、ファイアウォールで有効にする必要があります。詳細については、18 ページのセクション 2.4 「ファイアウォールの使用」を参照してください。

- ◆ サーバがネットワークに接続されていることを確認します。
- ◆ Novell ZENworks サーバ、Novell ZENworks Loader、Novell ZENworks データベースサービスが実行していることを確認してください。
- ◆ ZENworks Reporting Server を SUSE® Linux Enterprise Server (SLES) 10 SP3 の 64 ビットプラットフォームにインストールする場合は、必ず、SLES 10 SP3 64 ビットメディアを使用して、libstdc++33-32-bit パッケージをインストールするようにしてください。

2.2.2 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスの廃止

ZENworks Reporting Server のインスタンスは、管理ゾーン内に 1 つしか存在できません。同じ管理ゾーンに ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスをインストールしたい場合は、ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止し、新しいインスタンスをインストールする必要があります。

重要: 必ず、既存インスタンスからレポートをアーカイブしてから、新しいインストールを開始してください。これは、新規インストールが完了すると、ZENworks Reporting Server の既存のインスタンスが機能しなくなり、レポートをまったく取得できなくなるためです。アーカイブしたレポートは ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスに復元できます。

zman rpsv コマンドを使用して、レポートとユーザ権限を保存し、zman rpld コマンドを使用して、それらを復元できます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management コマンドラインユーティリティリファレンス』の「レポートコマンド」を参照してください。

- 1 ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスを、ZENworks Configuration Management がインストールされている同じ管理ゾーン内の別のプライマリサーバにインストールします。

メッセージが表示され、ゾーン内に ZENworks Reporting Server がすでに存在することを示します。

- 2 [はい] をクリックして、ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止し、ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスのインストールを開始します。

- 3 ZENworks Reporting Server の新しいインストールのインストール完了後、廃止した ZENworks Reporting Server のインスタンスをアンインストールします。

ZENworks Reporting Server のアンインストール方法の詳細については、21 ページの第 3 章「ZENworks Reporting Server のアンインストール」を参照してください。

2.2.3 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす

Linux サーバの場合、インストールスクリプトを実行する前に、固定ホスト名が設定されている必要があります。システムのこの情報を設定または変更するには、root 権限が必要です。詳細については、Linux システムのマニュアルを参照してください。

2.2.4 ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する

ZENworks 10 Configuration Management SP3 ZENworks Reporting Server ソフトウェアを ISO イメージのダウンロードとして取得した場合、Windows 用と Linux 用に別個のインストール DVD を作成して、これらのプラットフォームに ZENworks Reporting Server をインストールする必要があります。

- 1 ZENworks 10 Configuration Management SP3 ZENworks Reporting Server インストールの ISO イメージを [Novell Web サイト \(http://www.novell.com/\)](http://www.novell.com/) からダウンロードして、一時的に Windows デバイスまたは Linux デバイスの適当な場所にコピーします。
- 2 ISO イメージを DVD に記録します。

Linux では、DVD に記録する代わりに ISO マウントポイントからインストールプログラムを実行することもできます。

2.2.5 Oracle Client をインストールおよび設定する

ZENworks 10 Configuration Management SP3 が外部 Oracle*10g データベース用に設定されている場合は、ZENworks Reporting Server をインストールする前に、Net Configuration Assistant を使用して、ZENworks 10 Configuration Management SP3 によって使用される同じ Oracle データベースに対して Oracle 10g クライアントをインストールして設定します。

- 1 ZENworks Reporting Server をインストールするサーバに、Oracle クライアントをインストールします。Oracle クライアントは、ZENworks Configuration Management サーバに設定した外部 Oracle 10g データベースと同じバージョンである必要があります。
 - ◆ Windows 64 ビットプラットフォームでは、Oracle 10g 32 ビットクライアントをインストールします。ZENworks Reporting Server は、64 ビット版 Windows プラットフォームでは 32 ビットエミュレーションのみをサポートします。
 - ◆ Linux64 ビットプラットフォームでは、Oracle 10g 64 ビットクライアントをインストールし、次のコマンドを使用して環境変数 LD_LIBRARY_PATH の値を \$ORACLE_HOME/lib32 に設定します。

```
export LD_LIBRARY_PATH=$ORACLE_HOME/lib32:$LD_LIBRARY_PATH
```

注 : Oracle 10g R2 クライアントは SLES 10 サーバでサポートされていません。Oracle 10g R2 クライアントを SLES 10 SP3 サーバにインストールしたい場合は、Novell Cool Solution の記事「[Installing Oracle 10g R2 Database on SLES 10 \(http://www.novell.com/coololutions/appnote/17778.html\)](http://www.novell.com/coololutions/appnote/17778.html)」を参照してください。

Oracle クライアントのインストール方法については、『[Oracle Database Client Installation Guide \(http://www.oracle.com/technology/documentation/database10g.html\)](http://www.oracle.com/technology/documentation/database10g.html)』を参照してください。[インストールタイプ] ウィンドウで [Administrator] を選択してください。

重要: Linux では、Oracle クライアントのインストールディレクトリに全ユーザに対する読み込み/実行アクセス権があることを確認してください。

- 2 (オプション) Linux の場合、Oracle クライアントのインストール後、環境変数 ORACLE_HOME の値が、Oracle クライアントをインストールしたディレクトリのパスに設定されているかどうかを確認します。環境変数 ORACLE_HOME が無い場合は、新しい環境変数として手動で ORACLE_HOME を追加し、その値を、Oracle クライアントをインストールしたパスに設定します。
- 3 新しいサービス名を作成して ZENworks で使用する外部 Oracle データベースの設定に使用します。
 - ◆ Windows では、[スタート] > [すべてのプログラム] > [Oracle クライアント] > [Configuration and Management tools(設定と管理ツール)] > [Oracle Net Manager] の順にクリックします。
 - ◆ Linux では、\$ORACLE_HOME/bin ディレクトリに移動し、netmgr スクリプトを実行して Oracle Net Manager を開きます。
- 4 TNS_ADMIN 環境変数を正しく設定します。
 - ◆ Windows では、tnsnames.ora ファイルがデフォルトの場所 (%ORACLE_HOME%\NETWORK\ADMIN) にない場合、TNS_ADMIN という名前の新しい環境変数を作成します。TNS_ADMIN 環境変数の値を tnsnames.ora ファイルが存在するディレクトリのパスに設定します。
 - ◆ Linux では、tnsnames.ora ファイルがデフォルトの場所 (\$ORACLE_HOME/network/admin) にない場合、TNS_ADMIN この新しい環境変数の値を tnsnames.ora ファイルが存在するディレクトリのパスに設定します。
- 5 Oracle クライアントが正常にインストールされたかテストします。
 - ◆ Windows では、%ORACLE_HOME%\bin\tnsping new_service_name コマンドを実行します。
 - ◆ Linux では、\$ORACLE_HOME/bin/tnsping new_service_name コマンドを実行します。
new_service_name は **ステップ 3** で作成された新しいサービスの名前です。

2.3 ZENworks Reporting Server のインストール

- 1 次のいずれかの方法を使用して、ZENworks Reporting Server のインストールプログラムを起動します。
 - ◆ GUI(グラフィカルユーザインタフェース)のインストール
 1. インストールサーバで、Novell ZENworks 10 Configuration Management with SP3 Reporting Server DVD for Windows を挿入します。

Windows デバイスでは、DVD を挿入するとインストールが自動的に開始されます。表示されたインストールページから言語を選択することもできます。インストールが自動的に開始されない場合は、DVD を挿入した後に setup.exe をルートから実行します。

Linux デバイスの場合は、DVD をマウントして、sh /media/cdrom/setup.sh を実行します。

◆ コマンドラインインストーラ (Linux のみ)

1. インストールサーバで、*Novell ZENworks 10 Configuration Management with SP3 Reporting Server Novell ZENworks 10 Asset Management with SP3 Reporting Server DVD for Linux* を挿入します。
2. DVD をマウントします。
3. すべてのユーザ (「others」を含む) が読み込みおよび実行アクセスを持つディレクトリにコマンドラインインストーラを開始するには、DVD をマウントするか、または DVD のファイルを一時的に /root ディレクトリ以外の適当な場所にコピーします。
コピーしたファイルとその親ディレクトリに、すべてのユーザ (「others」を含む) が読み込みおよび実行アクセスを持つことを確認します。
4. 次のコマンドを実行します。

```
/mount_location/setup.sh -e
```

◆ サイレントモードインストーラ

1. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを作成します。

```
setup.exe/setup.sh -s
```
2. サイレントインストール環境設定ファイルをテキストエディタで開きます。
3. ADMINISTRATOR_PASSWORD= を検索します。
4. \$lax.nl.env.ADMIN_PASSWORD\$ を実際のパスワードに置き換えます。
たとえば、パスワードが novell の場合、エントリは次のようになります。

```
ADMINISTRATOR_PASSWORD=novell.
```
5. サイレントインストール環境設定ファイルを保存して、テキストエディタを終了します。
6. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを実行します。

```
setup.exe/setup.sh -s -f path_to_the_silent_install_file
```

2 インストール中にインストールに必要なデータの詳細を [16 ページの i2-1§ 「インストール情報」](#) 内の情報で参照してください。

GUI インストールを使用している場合は、[ヘルプ] ボタンをクリックして同様の情報を参照することができます。

コマンドラインの場合は、「back」と入力して <Enter> を押すと、前のインストールオプションに戻って変更することができます。

いずれの場合も、インストールプロセスを完了するための一環として、データベースが更新され、このプロセス中には CPU 利用率が上昇します。このため、サービスの起動が遅くなる可能性があります。

3 (オプション) Linux サーバで Oracle データベースを選択した場合は、環境変数 LD_LIBRARY_PATH が、\$ORACLE_HOME/lib または \$ORACLE_HOME/lib32 が含まれるディレクトリのパスに設定されているかどうかを確認します。環境変数 LD_LIBRARY_PATH がない場合は、環境変数に追加して、その値を、\$ORACLE_HOME/

lib32 が含まれるディレクトリのパスに設定します。\$ORACLE_HOME/lib32 へのパスが有効なパスでない場合は、環境変数の値を、\$ORACLE_HOME/lib が含まれるディレクトリのパスに設定します。

4 ZENworks Reporting Server をインストール後、デバイスを再起動します。

ZENworks Reporting Server を GUI(グラフィカルユーザインタフェース) インストーラ経由でインストールした場合、インストールログは次の場所にあります。

◆ **Windows の場合 :**

- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ %zenworks_home%\logs\wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd MMM yyyy HH-mm-ss.log

◆ **Linux の場合 :**

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd MMM yyyy HH-mm-ss.log

重要 : ZENworks 10 Configuration Management SP3 ZENworks Reporting Server は、メディアからのみインストールできます。ネットワークドライブへマッピングしてインストールすることはできません。

2.3.1 インストール情報

必要な情報はインストールフローの順番で一覧表示されています。

表 2-1 インストール情報

インストール情報	説明
インストールパス	ZENworks Reporting Server は、ZENworks 10 Configuration Management SP3 のインストールフォルダである %ZENWORKS_HOME%\share\boe(Windows の場合) または \$ZENWORKS_HOME/share/boe(Linux の場合) にインストールされます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「インストール情報」を参照してください。

インストール情報 説明

前提条件

- ◆ ユーザ名とパスワードを入力するよう、インストーラによってプロンプトが表示されます。この場合、ZENworks ゾーンのスーパー管理者のユーザ名とパスワードを指定します。
- ◆ インストーラは、ZENworks 10 Configuration Management サーバがデバイスにインストールされているかどうかチェックします。
- ◆ 資格情報が正しければ、インストーラは、デバイスの空きディスク容量、オペレーティングシステム、システムアーキテクチャなど、その他の前提条件をチェックします。ZENworks 10 Configuration Management (SP3) が Oracle データベースに対してインストールされている場合は、ZENworks Reporting Server のインストーラは、Oracle クライアントがデバイスにインストールされているかどうかにもチェックします。Oracle クライアントが見つからなかった場合、エラーが表示され、インストールは終了します。
- ◆ 必要な前提条件を満たしていない場合、インストールを続行することはできません。満たされていない前提条件は、GUI に表示されるか、コマンドラインに一覧にされます。

重要 : ZENworks Reporting Server をインストールした後で、ZENworks プライマリサーバの認証局 (CA) のタイプを、内部 CA から外部 CA またはその逆に変更することはできません。

[デフォルトの復元] ボタンはこのページに最初にアクセスしたときに表示されるパスを復元します。

インストール前の概要

GUI インストール : この時点までに入力した情報を変更するには、[前へ] をクリックします。インストールを開始するには、[インストール] をクリックします。

インストールを終了するには、[キャンセル] をクリックします。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。

コマンドラインインストール : この時点までに入力した情報を変更するには、「back」と入力して <Enter> を押します。

インストールを終了するには、<Ctrl>+<C> を押します。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。

インストールの完了

インストールが正常に完了すると、確認が表示されます。

ZENworks 10 Configuration Management SP3 を使用している場合は、boe フォルダがインストールディレクトリ内に作成されます。

ZENworks
Reporting Server
のバージョン

- ◆ **Linux の場合 :**
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP3 を使用している場合、デバイスにインストールした ZENworks Reporting Server のバージョンは、ZENworksReportingServerVersion.txt ファイル (/opt/novell/zenworks/share/boe/version # ディレクトリ内) で見つかります。
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management 10.3.x を使用している場合、デバイスにインストールした ZENworks Reporting Server のバージョンは、ZENworksReportingServiceComponentsVersion.txt ファイル (/opt/novell/zenworks/share/boe-publish/version ディレクトリ内) で見つかります。
- ◆ **Windows の場合 :**
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP3 を使用している場合、デバイスにインストールした ZENworks Reporting Server のバージョンは、ZENworksReportingServerVersion.txt ファイル (%ZENWORKS_HOME%\share\boe\version # ディレクトリ内) で見つかります。
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management 10.3.x を使用している場合、デバイスにインストールした ZENworks Reporting Server のバージョンは、ZENworksReportingServiceComponentsVersion.txt ファイル (%ZENWORKS_HOME%\share\boe-publish\version ディレクトリ内) で見つかります。

2.4 ファイアウォールの使用

ZENworks Reporting Server はファイアウォールシステムと連携動作するため、ネットワークセキュリティを損なうことなく、イントラネットやインターネットの区別なくレポートを提供できます。

このセクションでは、パケットフィルタリングファイアウォール環境で ZENworks Reporting Server を設定する方法について説明します。これ以外のタイプのファイアウォール環境における ZENworks Reporting Server の動作の詳細については、『[BusinessObjects Enterprise XI Release 2 展開設定ガイド](http://support.businessobjects.com/documentation/default.asp) (<http://support.businessobjects.com/documentation/default.asp>)』を参照してください。

デフォルトでは、ZENworks Reporting Server はコンポーネント間の通信に、ダイナミックに選択されたポート番号を使用します。ZENworks Reporting Server がファイアウォールを越えて通信できるようにするには、固定アドレスと固定ポートを使用するようにそのコンポーネントを設定する必要があります。この固定アドレスおよびポートを使用して、ファイアウォールの背後のサービスと通信できるよう、ファイアウォールを設定する必要もあります。

次の各セクションでは、詳細について説明します。

- ◆ [19 ページのセクション 2.4.1 「ZENworks Reporting Servers の設定」](#)
- ◆ [19 ページのセクション 2.4.2 「ファイアウォールルールの指定」](#)

2.4.1 ZENworks Reporting Servers の設定

Central Management Server だけでなく、ファイアウォール内部にある Central Configuration Manager に一覧にされた ZENworks Reporting Server サービスもすべて、固定ポート上でアプリケーションサーバからの通信に応答するよう設定する必要があります。

- 1 ZENworks Reporting Server で、デスクトップの [スタート] メニュー > [プログラム] > [ZENworks Reporting Server] > [ZENworks Reporting Server] > [Central Configuration Manager] の順にクリックします。
- 2 次のいずれかを実行して、Central Configuration Manager に一覧にされた ZENworks Reporting Server サービスを停止します。
 - ◆ ZENworks Reporting Server サービスを右クリックして、[停止] をクリックします。
 - ◆ ZENworks Reporting Server サービスを選択して、ツールバーの [停止] アイコン (■) をクリックします。
- 3 ツールバーの [プロパティ] アイコン (■) をクリックします。
デフォルトで [プロパティ] タブが表示されます。
- 4 [コマンド] オプションで、値に `-requestport port_number` を追加します。 `port_number` には、有効な空きポート番号を指定します。
たとえば、Central Management Server のコマンド値は次のようになります。

```
"\\blr-nrm-r1d\CS\Program Files\Novell\ZENworks\share\boe\BusinessObjects Enterprise 11.5\win32_x86\CMS.exe" -service -name blr-nrm-r1d.cms -restart -protocol ssl -ssl_certdir "C:\Program Files\Novell\ZENworks\conf\security" -ssl_mycertificate "server.der" -ssl_trustedcertificate "ca.der" -ssl_mykey "server.key" -ssl_mykey_passphrase "passphrase.txt" -requestport 5601
```

Central Configuration Manager の配下の各サーバは、一意のポート番号を使用する必要があります。ただし、Central Management Server のポート番号は 6400 以外の値である必要があります。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 次のいずれかを実行して、サーバを再起動します。
 - ◆ ZENworks Reporting Server サービスを右クリックして、[再起動] をクリックします。
 - ◆ ZENworks Reporting Server サービスを選択して、ツールバーの [スタート] アイコン (▶) をクリックします。
- 7 ファイアウォール外部にある各 ZENworks Reporting Server サービスに対して、[ステップ 2](#) ~ [ステップ 6](#) を繰り返します。

2.4.2 ファイアウォールルールの指定

ZENworks Reporting Server と他の ZENworks プライマリサーバ間にファイアウォールがある場合は、インバウンドアクセスルールを指定する必要があります。このルールを指定する方法の詳細については、ファイアウォールのマニュアルを参照してください。

ポート 6400、または [19 ページのセクション 2.4.1 「ZENworks Reporting Servers の設定」](#) の [19 ページのステップ 4](#) で指定したポートで実行されている ZENworks Reporting Server へは、ZENworks プライマリサーバだけが接続できるようにすることをお勧めします。

次の表にインバウンドアクセスルールをリストします。

表 2-2 インバウンドアクセスルール

ソースデバイス	ポート	宛先デバイス	ポート	アクション
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	6400	許可
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	-requestport を使用して指定されたポート番号	許可
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(その他の ZENworks Reporting Server サービス)	-requestport を使用して指定されたポート番号	許可
任意のマシン	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	すべて	不許可
すべて	すべて	ZENworks Reporting Server(その他の ZENworks Reporting Server サービス)	すべて	不許可

ZENworks Reporting Server のインストール

3

管理ゾーン内のプライマリサーバで、まず ZENworks Reporting Server をアンインストールしてから ZENworks Configuration Management をアンインストールする必要があります。

注: ZENworks Reporting Server は、インストール時と同じモードでアンインストールされます。

たとえば、コマンドラインモードを使用して ZENworks Reporting Server をインストールした場合、アンインストールプログラムはサーバをコマンドラインモードのみでアンインストールします。

- [21 ページのセクション 3.1 「GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- [22 ページのセクション 3.2 「コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- [22 ページのセクション 3.3 「サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- [22 ページのセクション 3.4 「Windows の \[プログラムの追加と削除\] による ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)

3.1 GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

1 アンインストールプログラムを起動します。

Windows の場合は、次のコマンドを実行します。

```
%ZENWORKS_HOME%\bin\zrsuninstall.exe
```

Linux の場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall
```

[レポートングサーバのアンインストール] ページが表示されます。

2 [アンインストール] をクリックします。

3 アンインストーラは、ゾーン内にアクティブな ZENworks Reporting Server がないかどうかをチェックします。

4 プロンプトが表示されるので、[はい] をクリックします。

アンインストールが開始されます。

5 [アンインストールが終了しました] ページで [完了] をクリックします。

3.2 コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。
Linux の場合は、次のコマンドを実行します。
`/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall`
アンインストールが開始されます。
- 2 画面のプロンプトに従って、アンインストールプロセスを完了します。

3.3 サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。
Windows の場合は、次のコマンドを実行します。
`%ZENWORKS_HOME%/bin/zrsuninstall.exe`
Linux の場合は、次のコマンドを実行します。
`/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall`

Windows デバイスで、Windows - %ZENWORKS_HOME%/logs/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log ファイルでログを参照できます。Linux デバイスでは、linux - /var/opt/novell/log/zenworks/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log ファイルのログを参照できます。

3.4 Windows の [プログラムの追加と削除] による ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 デスクトップで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [プログラムの追加と削除] の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除] ウィンドウで、[ZENworks Reporting Server] を選択後、[削除] をクリックします。

ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング

A

次のセクションでは、Novell® ZENworks® Configuration Management レポートサーバーの操作中に発生する可能性がある問題の解決方法について説明します。

- [23 ページのセクション A.1 「ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ」](#)
- [23 ページのセクション A.2 「ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略」](#)

A.1 ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ

このセクションでは、ZENworks Reporting Server の使用時に表示される可能性があるエラーメッセージの一部を詳細に説明します。

- [23 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストールは失敗しました」](#)

ZENworks Reporting Server のアンインストールは失敗しました

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3; ZENworks Reporting Server.

考えられる原因：Novell ZENworks Loader サービスが、アンインストールプロセスの最後で再起動に失敗しました。

アクション：Novell ZENworks Loader サービスを手動で再起動します。

A.2 ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略

このセクションでは、ZENworks 10 Configuration Management Reporting Server の使用時に発生する可能性がある問題の解決策を示します。

- [24 ページの「ZENworks Reporting Server インストールが、Oracle データベースを使用している 64 ビット Windows デバイスで失敗する」](#)
- [24 ページの「ZENworks Reporting Server サービスのデバッグログを有効にする方法」](#)
- [24 ページの「BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所」](#)
- [25 ページの「ZENworks Reporting Server のログファイルの場所」](#)
- [25 ページの「ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポートサーバーの仮想マシンへのインストールが失敗する」](#)
- [25 ページの「ZENworks Reporting Server を削除した後も、ZENworks Reporting Server を削除できないというメッセージが表示される」](#)
- [26 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストールプロセスが失敗したというメッセージが、ZENworks Reporting Server のアンインストール中に表示される」](#)

- ◆ 26 ページの「Windows で、同じデバイスで別のインストールが実行されている場合、レポーティングサーバのアンインストールに失敗することがある」
- ◆ 26 ページの「ZENworks データベースが MS SQL Server データベースで、認証モードが Windows 認証の場合、レポーティングが動作しない」
- ◆ 27 ページの「ZENworks Reporting Server が、その設定先のプライマリサーバ以外のサーバで、ZENworks コントロールセンターからの起動に失敗する」

ZENworks Reporting Server インストールが、Oracle データベースを使用している 64 ビット Windows デバイスで失敗する

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3; ZENworks Reporting Server.

考えられる原因：ZENworks Configuration Management に指定されているインストールパスに括弧が含まれている可能性があります。

アクション 1: 同じプライマリサーバ上に ZENworks Reporting Server をインストールする場合：

- 1 ZENworks Configuration Management をプライマリサーバからアンインストールします。
- 2 ZENworks Configuration Management を、パス名に括弧が含まれないカスタマイズした場所にインストールします。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「インストール情報」を参照してください。

アクション 2: 別のプライマリサーバ上に ZENworks Reporting Server をインストールする場合：

- 1 新しいサーバ上に、ZENworks Configuration Management を、パス名に括弧が含まれないカスタマイズした場所にインストールします。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「インストール情報」を参照してください。
- 2 ZENworks Reporting Server をインストールします。

ZENworks Reporting Server サービスのデバッグログを有効にする方法

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、ZENworks Reporting Server

アクション：ログを有効にするには、[Novell Support Knowledgebase \(http://support.novell.com/search/kb_index.jsp\)](http://support.novell.com/search/kb_index.jsp) の TID 3418069 を参照してください。

BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所

ソース：ZENworks 10 Configuration Management SP3、ZENworks Reporting Server

アクション：ZENworks Reporting Server インストールのログファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合：

%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging\BOEInstall_0.log

Linux の場合：

/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/install_timestamp.log

ZENworks Reporting Server トレースファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合 :

%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging

Linux の場合 :

/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/

ZENworks Reporting Server のログファイルの場所

ソース : ZENworks 10 Configuration Management SP3、ZENworks Reporting Server

アクション : ZENworks Reporting Server を GUI(グラフィカルユーザインタフェース) インストーラ経由でインストールした場合、インストールログは次の場所にあります。

◆ **Windows の場合 :**

- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ %zenworks_home%\logs\wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

◆ **Linux の場合 :**

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポーティングサーバの仮想マシンへのインストールが失敗する

ソース : ZENworks 10 Configuration Management SP3; ZENworks Reporting Server.

アクション 1: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを仮想マシンのディレクトリに展開し、そのディレクトリから ZENworks Reporting Server のインストールを実行します。

アクション 2: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを DVD にコピーし、これを使用して ZENworks Reporting Server を仮想マシン上にインストールします。

ZENworks Reporting Server を削除した後も、ZENworks Reporting Server を削除できないというメッセージが表示される

ソース : ZENworks Configuration Management SP3; ZENworks Reporting Server.

アクション : このエラーメッセージは無視してください。[完了] をクリックして、[アンインストールが完了しました] ウィンドウを閉じます。

ZENworks Reporting Server のアンインストールプロセスが失敗したというメッセージが、ZENworks Reporting Server のアンインストール中に表示される

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP3; ZENworks Reporting Server。

説明： これは正しくないメッセージで、Novell ZENworks Loader サービスをアンインストールプロセスの終了時に再起動できなかった場合に、アンインストールプロセス中に表示されます。

また、ZENworks Reporting Server アンインストールログファイルとサービスメッセージログファイルに、それぞれ次のメッセージが記録されます。

- ◆ “[ERROR] [8/10/09 1:10:00 PM] [] [UNINSTALL] [ZRS Uninstall Failed with exceptioncom.novell.zenworks.configure.ConfigureException: 2]([エラー] [8/10/09 1:10:00 PM] [] [アンインストール] [ZRS アンインストールが exceptioncom.novell.zenworks.configure.ConfigureException: 2 で失敗しました)”
- ◆ “Failed to send RPC command to the zenloader process: settings.refresh”(zenloader プロセス :settings.refresh への RPC コマンドの送信に失敗しました)

アクション： Novell ZENworks Loader サービスを手動で再起動します。

Windows で、同じデバイスで別のインストールが実行されている場合、レポートングサーバのアンインストールに失敗することがある

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP3; ZENworks Reporting Server。

説明： %ZENWORKS_HOME%\logs\zrsuninstall.log ファイルに次のメッセージが記録されます。

```
ERROR_INSTALL_ALREADY_RUNNING
```

アクション： 以下を実行します。

- 1 Windows のタスクマネージャを開き、msiexec.exe および setup.exe のすべてのインスタンスを停止します。
- 2 ZENworks Reporting Server をアンインストールします。

ZENworks データベースが MS SQL Server データベースで、認証モードが Windows 認証の場合、レポートングが動作しない

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP3、ZENworks Reporting Server

説明： レポートの実行中に次のエラーが表示されることがあります。

```
A database error occurred. The database error text is:  
[Microsoft][ODBC SQL Server Driver][SQL Server] Login failed  
for user "NT  
AUTHORITY\ANONYMOUS LOGON"..(WIS 10901)
```

アクション： 以下を実行します。

- 1 ZENworks サーバで ZENworks Reporting Server サービスのプロパティを編集します。

- 2 デスクトップの [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [ZENworks Reporting Server] > [ZENworks Reporting Server] > [Central Configuration Manager] の順にクリックします。
[Central Configuration Manager] ウィンドウが表示されます。
- 3 [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[中止] をクリックします。
- 4 [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
[Server Intelligence Agent (ZENReporting) のプロパティ] ウィンドウが表示されます。
- 5 [ログオン] パネルで [システムアカウント] を選択解除し、ZENworks Reporting Server データベースをホストする Windows サーバのドメインアカウントのユーザ名とパスワードを指定します。ドメイン以外のユーザについては、MS SQL サーバデータベースと ZENworks Reporting Server のユーザ名とパスワードは同一である必要があります。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[開始] をクリックします。

ZENworks Reporting Server が、その設定先のプライマリサーバ以外のサーバで、ZENworks コントロールセンターからの起動に失敗する

ソース： ZENworks 10 Configuration Management; ZENworks Reporting Server。

説明： ZENworks Reporting Server が、ゾーン内の設定先プライマリサーバ以外のサーバで、ZENworks コントロールセンターを介した起動に失敗します。

たとえば、ZENworks Reporting Server を最初のプライマリサーバ上で設定し、その ZENworks Reporting Server を設定先でない別のプライマリサーバから起動しようとした場合は、ZENworks Reporting Server の起動に失敗します。

アクション： ZENworks Reporting Server を設定したプライマリサーバで、端末を開き、root ユーザとして、次のコマンドを実行します。

```
/sbin/SuSEfirewall2 stop
```

```
/sbin/SuSEfirewall2 start
```


マニュアルの更新

このセクションには、この『ZENworks Reporting Server インストールガイド』(Novell® ZENworks®10 Configuration Management SP3 用)で行われたマニュアル内容の変更に関する情報が記載されています。変更が行われた日付に基づいて、変更が一覧表示されています。

この製品のドキュメントは、HTML および PDF の 2 つの形式で Web にて提供されています。HTML および PDF ドキュメントにはこのセクションに一覧表示された変更が反映され、最新の状態に保たれています。

使用している PDF ドキュメントが最新のものであるかどうかを知る必要がある場合、PDF ドキュメントの表紙の発行日を参照してください。

このドキュメントは次の日付に更新されました。

- ◆ [29 ページのセクション B.1 「2010 年 3 月 30 日 : SP3 \(10.3\)」](#)

B.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)

場所	変更
23 ページの付録 A 「ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング」	次のシナリオを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ ZENworks Reporting Server が、その設定先のプライマリサーバ以外のサーバで、ZENworks コントロールセンターからの起動に失敗する
9 ページのセクション 1.1 「ZENworks Reporting Server の要件」	このセクションを再編成し、更新しました。

